

## TOKYO FM・クワトロメディア(株)が福岡にて 新時代の放送を担うBML 技術者養成講座 「BML スクール」を開催

TOKYO FMとクワトロメディア株式会社(東京都港区、代表取締役社長:山本直人、URL:<http://www.qmedia.co.jp>)は、福岡ユビキタス特区でのマルチメディア放送実証実験の開始を前に、デジタルハリウッド福岡校(福岡県福岡市)にて放送新時代において不可欠なデータ放送の番組制作技術者を育成する「BML<sup>注1</sup>スクール」を開催致します。TOKYO FMが東京・大阪地区で実施してきた3セグメントマルチメディア放送<sup>注2</sup>で実際に番組制作を行ったクワトロメディア株式会社の担当者を講師に、番組制作の即戦力となる技術者の育成を目指します。

ワンセグをはじめとしたISDB方式のデジタル放送で導入されているデータ放送は「BML言語」によって記述されており、この技術は2011年以降の携帯向けマルチメディア放送<sup>注3</sup>でも導入が検討されています。しかしながらXHTMLを放送用に拡張した部分などの習得には時間と経験が必要であり、放送業界では2011年の完全デジタル化を控えBML技術者の育成が急務といわれています。

エフエム東京などが幹事社を務める「マルチメディア放送ビジネスフォーラム」<sup>注4</sup>(旧デジタルラジオニュービジネスフォーラム)では第二期に東京においてBMLスクールを開催し、その後実際に番組制作業務に携わった受講者も多数輩出致しました。

今回、福岡ユビキタス特区<sup>注5</sup>にて今秋にも開始が予定されているマルチメディア放送の実証実験を前に、福岡地区においてもBML技術者を育成するため、このBMLスクールを開催致します。

東京・大阪地区で実施した3セグメント放送によるマルチメディア放送での実例を交えながら、即戦力となる技術者の育成を目指します。

注1) BML (Broadcast Markup Language)

データ放送用のコンテンツを製作するための言語であり、ワンセグを始めとする国内の様々なデジタル放送で採用されている。XHTMLをベースとして放送用に機能が拡張されており、ARIB(電波産業界)にて規格化されている。

注2) 3セグメントマルチメディア放送

東京・大阪地区で実施されている地上デジタル音声放送の中で、TOKYO FMとfmosakaが実施してきたサービス。ワンセグの3倍の帯域を使うことで音声だけでなく映像やデータ放送、コンテンツのダウンロード販売など、番組と様々なコンテンツが連動した新しい放送。

注3) 携帯向けマルチメディア放送

テレビ放送のデジタル化によってVHF周波数の一部に空き帯域が出来る2011年7月以降、携帯電話などへ向けた全く新しい放送サービス。放送波を利用して映像や音声、データなど、さまざまなコンテンツを楽しめることを想定したサービスで、一般向けチャンネルから専門チャンネルまで、多チャンネルでのサービス展開がイメージされており、送信の形式もリアルタイムのものだけでなく、ダウンロード型、蓄積型などが検討されている。インターネットなどの通信との連携なども視野に入れている。

注4) マルチメディア放送ビジネスフォーラム

マルチメディア放送のビジネス展開を加速するために発足した組織で本年度で第4期目。参加社は放送局、コンテンツプロバイダ、携帯キャリア、自動車メーカー、受信機メーカー、などのべ120社に及ぶ。

注5) ユビキタス特区

総務省策定の「ICT改革促進プログラム」と「ICT国際競争力強化プログラム」に基づき、ユビキタスネットワーク技術などを活用した新たなサービスの開発、実証実験ができる環境を整備した区域。福岡地区は、CSK-1SとTOKYO FMが提案した「3セグメント放送の実証実験」が採択され、2011年3月まで各種実験が行われる。

## 開催概要

- ◇ 開催日程：10/14（月）、15（火）、27（月）、28（火）、11/10（月）、11（火）  
19:00～22:00（全6回）
- ◇ 会場：デジタルハリウッド福岡校  
福岡市中央区天神1-7-11 イムズ11F
- ◇ 講師：長谷川修平（クワトロメディア株式会社）  
仁平成彦（エフエム東京）  
小田慎也（エフエム東京）
- ◇ 受講料：Aコース：198,000円  
(BML シミュレーター ACCESS 社製「NetFront® BML Viewer One-seg Edition」購入+受講)  
Bコース：39,800円（受講のみ）

## 講義内容

第1回	10/14(火) 19:00～ 22:00	・はじめに ・データ伝送・多重化について、モノメディアコンテンツについて ・データ放送を使ったデジタルラジオ番組制作に関して ・BML概論
第2回	10/15(水) 19:00～ 22:00	・BML要素 ・CSS (Cascading Style Sheet) ・DOM (Document Object Model) ・演習
第3回	10/27(月) 19:00～ 22:00	・スクリプト記述言語 ・組み込みオブジェクト ・演習
第4回	10/28(火) 19:00～ 22:00	・放送用拡張オブジェクト ・ブラウザ擬似オブジェクト ・演習
第5回	11/10(月) 19:00～ 22:00	・割り込み事象 ・P2プロファイル独自機能 ・演習
第6回	11/11(火) 19:00～ 22:00	・演習

## 申込先&問い合わせ先

クワトロメディア株式会社 ソリューション事業部 担当：宮崎  
URL：http://www.qmedia.co.jp/  
TEL：03-6229-9884 bml@qmedia.co.jp

マルチメディア放送ビジネスフォーラム事務局 担当：栗田（E A U株式会社）  
URL：http://drforum.jp/  
TEL：03-3423-1543 digitaljimukyoku@drforum.jp